

川崎市市内において、2025/2026 シーズンで初めて インフルエンザによる学級閉鎖等の報告がありました

川崎市市内において、2025/2026 シーズン（令和7年9月1日以降）で初めて、インフルエンザによる学級閉鎖等の報告がありましたのでお知らせします。

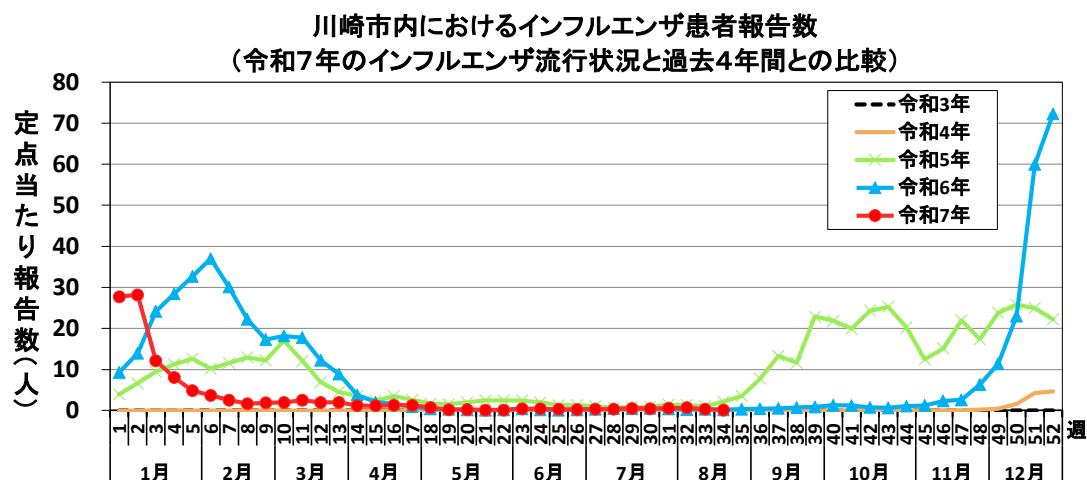
インフルエンザは例年冬季に流行し、通常は5月頃までに非流行期となります。今シーズンはシーズン開始と同時に初発の学級閉鎖の報告となりました。

施設	学級 在籍人数	欠席者数 (早退含む)	患者数	閉鎖期間	主な症状
市内私立小学校	35名	10名	10名※ (1名)	9/2～9/4	発熱

※患者数は、インフルエンザと診断された者およびインフルエンザ様症状がある者の総数

※括弧内は、そのうちインフルエンザと診断された者の数

参考1 市内インフルエンザ発生状況（感染症発生動向調査事業より）



参考2 市内インフルエンザウイルス検出状況（今シーズンは、検査結果が判明している検体はありません。）

	検査結果		
	A 香港型 (H3N2)	AH1pdm09 (※3)	B 型
今シーズン (※1)	—	—	—
昨シーズン (※2)	18	52	19

※1 今シーズン：2025/2026 シーズン

※2 昨シーズン：2024/2025 シーズン（令和7年9月1日結果判明分まで）

※3 AH1pdm09：2009年に流行した新型インフルエンザウイルス

（川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成）

インフルエンザの予防法

- 1 外出後には手洗いを実施しましょう。
- 2 室内では適度な湿度（５０～６０％）を保ちましょう。
- 3 十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。
- 4 流行期には高齢の方や基礎疾患のある方は人ごみや繁華街への外出を控えましょう。
- 5 マスクを着用しましょう。

連絡先

川崎市健康福祉局保健医療政策部
感染症対策課 吉川
電話（０４４）２００－２４４６

ウイルスを撃退して

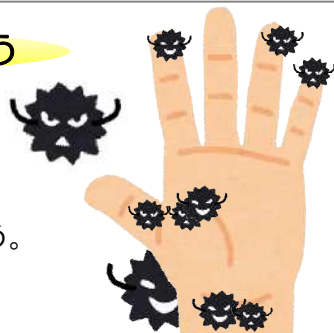
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。
外出したら、必ず石けんで手洗い・うがいをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。
(口だけでなく鼻もおおきましょう)
- ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



ワクチン接種を受けましょう



- ◆ インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、今シーズンのワクチン接種が始まりましたらできるだけ早い接種をおすすめします。

空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。(湿度50%～60%程度)
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みへの外出は避けましょう



- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。